

八戸工業大学 広報誌

未来への翼

2026
Spring



表紙

八戸工業大学サッカー場完成！

5月4日（月・祝）、新たに完成した人工芝サッカー場において、「学校法人八戸工業大学サッカー場～Blue Field～こけら落とし試合および記念セレモニー」が執り行われました。セレモニーでは、熊谷雄一八戸市長をはじめとする多くのご来賓、対戦相手としてお迎えした弘前大学サッカー部の皆様、そして本学関係者やサッカー部員が出席し、新たな門出を祝いました。

H.I.T.活動報告

学長通信



八戸工業大学 入学式

令和8年度入学式を 挙行了しました

4月3日(金)、本学体育館を会場として「令和8年度 入学式」を挙行了いたしました。船崎健一学長は告辞の中で、AIが台頭する時代だからこそ自ら学び考え続けることが人間の成長に不可欠であると強調しました。本学の理念「良き技術は良き人格から生まれる」の下、多様な出会いや体験を通じて「何者か」になるための研鑽を積んでほしいと語りました。本学にご入学された皆さま、おめでとうございます。学生生活が実り多きものになるよう、教職員一同精一杯サポートいたします。



学生のさらなる満足度向上へ



100円学食提供開始！ 初日は即完売の反響



4月14日(火)、学生の食生活を支援する取り組みとして注目を集めていた「100円学食」がスタートいたしました。初日は、食堂前には11:45の販売開始を待ちわびる多くの学生が詰めかけ、会場は大繁盛の様子を見せました。提供メニューは飛ぶように売れ、初日は見事完売。学生たちの期待の高さが伺える絶好の滑り出しとなりました。

女子学生の活躍

「GirlsActive LABO」が彩る 春のキャンパス

「Girls Active LABO」のメンバーが、キャンパスに彩りをつくることを目的として本学キャンパスの1号館と2号館の間にある花壇及び新聞閲覧室付近のプランターに植えたチューリップが開花しました！色とりどりのチューリップとともに、学生たちの感性が光る手作りの看板やラベルが、キャンパスをより鮮やかで温かみのある空間へと彩っていました。なお、チューリップ球根の一部は佐藤工業様より頂いたものです。



みんなでつくる八戸工業大学



4年生と学長との懇談会が 開催されました

5月12日(火)、学長室にて「4年生と学長との懇談会」を開催しました。この懇談会は、卒業を控えた4年生の皆さんの素直な意見や『生の声』を船崎 健一 学長が直接伺い、良い大学づくりや学生支援に活かしていくことを目的としています。船崎学長からは、率直な意見を伝えてくれた学生たちへ感謝の言葉が贈られ、会は終了しました。ご協力いただきました学生の皆さん、誠にありがとうございました。

それぞれの記事は、大学ホームページでもご覧いただけます。
ぜひチェックしてください！

継続的な学びへの経済支援

八戸工業大学特待生・奨学生 伝達式を実施しました

4月24日（金）に、今年度採用となった特待生・奨学生への伝達式を行いました。本学では、学業及び課外活動で特に優れた成績を収めた学生に対する支援として、入学時に採用される特待生制度を設けています。また、在学学生を対象とした奨学生制度があり、年度ごとに選考が行われています。船崎学長は対象学生に向け「高等教育を担う本学の学生として、自らの学びに責任を持ち、真摯に努力を続けてほしい」と、今後の活躍を期待しました。今年度は、特待生と奨学生あわせて123名が採用されました。



地域と連携した学生の取り組み①



HACHINOHEおもてなし弁当 お披露目会・感謝状贈呈式

4月30日（木）、八戸パークホテルにて「HACHINOHEおもてなし弁当お披露目会・感謝状贈呈式」が開催されました。昨年9月から感性デザイン学部感性デザイン学科の学生が、八戸市国スポ・障スポ推進室担当者らと共にアイスブレイクや相談会を重ね、11月には本学メディアセンターにてデザイン発表会を開催、その後実行委員会によって33作品の中から採用5作品が選出されました。熊谷 雄一八戸市長から、本学船崎健一学長へ感謝状、採用作品をデザインした学生に表彰状が手渡されました。

地域と連携した学生の取り組み②

青い森信用金庫本店 ウォールアートコンテスト

青い森信用金庫本店の壁面に掲出される、ウォールアートコンテストが開催されました。今回のコンテストでは、感性デザイン学部感性デザイン学科2年の安ヶ平雪衣さんの作品が見事、グランプリを獲得しました。5月12日（火）に表彰式と除幕式が行われ、式典では安ヶ平さんのほか、9名の学生が準グランプリなどの表彰を受けました。「明るい未来の青森」をテーマとした画面には、飛び立つウミネコやねぶた、リンゴなど青森の魅力が描きこまれています。お近くへお越しの際はぜひ一度ご覧ください。



産学連携によるインフラ教育・研究の拠点



HITインフラミュージアム 完成記者発表会・お披露目会

5月26日（火）、本学キャンパス内にて「HITインフラミュージアム」の完成記者発表会を開催しました。船崎学長は、「普段の日常がインフラの老朽化によって生命の危機にさらされている。この施設を広く活用し、人材育成と地域への還元に尽力したい」と、施設に込めた強い期待を述べました。今後は本学学生の教育をはじめ、現役技術者や県職員向けの研修、資格試験の会場として活用するほか、地域の小・中・高校生を対象とした見学会やインフラに関する学習の場としても幅広く活用していく予定です。

H.I.T.
活動報告

地域とともに未来をつくる

本学における教育・研究活動や
学生の活躍などをお届けいたします。



昨年4月に八戸工業大学の学長を拝命してから1年が経過しました。大学内外における主要会議、行事を一通り経験し、その過程で本学の54年に及ぶ教育研究活動の実績とその間に培ってきた地域の皆様との関係性などを理解するとともに、本学が抱える弱点、改良すべき点などの存在も把握することができました。また、学内における議論や懇談の場を通じて、教職員や学生の皆さんと問題意識を共有することもできた1年でした。本学を退職された教職員の皆様や同窓生の皆様ともお話す機会も多くあり、本学に対する強い思いもお聞きするとともに、本学運営の責任を改めて感じた次第です。

さて、昨年は国内外で決して明るいとは言えない大きな出来事が続いた1年でした。特に、米国のトランプ第2次政権による関税政策や環境政策、また、今年に入ってからイランへの軍事行動等は、世界の安定性に大きく影響を与えています。エネルギーのみならずレアアースなど資源の問題も大変気になるニュースです。特に、私が大きな関心を持って見ていた出来事としては、最新技術の軍事利用に関するものです。戦争はある分野の科学技術を進化させる大きな要因の一つであることは歴史からも知ることができますが、まさに私たちが見ている現在進行中の戦闘行為は歴史に大きな痕跡を残すものとなっています。例えば、ロシアのウクライナ侵攻では、スターリンクなどの通信衛星網、GPS衛星群を使った無人機（ドローン）が戦闘に当たり前のように使われ、イランでの軍事行動には最新のAI技術が攻撃対象の抽出などに用いられています。戦闘時のみならず、平時においてもサイバー攻撃も常態化しています。これらの状況を反映して、世界における軍事費、国防費も増える一方であり、日本もその例外ではありません。そして、それらの科学技術の開発の多くが、国をも凌駕するような資金調達能力を有する超巨大企業や新興企業が主導しているという事実にも注意を向ける必要があります。



本学正門からの道



正門近くに新たに整備された人工芝サッカー場

本学での2年目を迎えた4月に、再び新入生を迎えることができました。昨年は就任直後に入学式に臨んだため、入学式の運営を事前に掌握できない状態だったのですが、今回は事前にいろいろと要望を伝えていたため、式の運営に多少なりとも学長色を出すことができたと感じています。特に意識したことは、国歌斉唱や校歌斉唱の際の伴奏に生音をお願いしたことです。コロナ禍以後、本学では式典の際の吹奏楽部による伴奏がなくなっただけなのですが、そのことがとても寂しく感じ、復活をお願いした次第です。部員数は多くはありませんが、生音らしい迫力と呼吸感が出席者に十分伝わった演奏でした。残念だったのは、新入生が校歌を全く知らないため、会場内での歌声があまり大きくなかったことです。困みに、私は校歌マニアなので（小中高大+岩大歌えます）、しっかりと歌いました。

また、受付業務等に学生の参加をお願いしたのも新たな取り組みでした。学生は本学が誇る「宝物」であり、新入生の保護者の皆様に、どのように学生が成長するのかの一端を知って頂きたいという願いから実施しました。今後も少しずつ式典のあり方などを改良し、本学を適切にアピールすると共に、色々な方々に広く知って頂く努力を重ねて参ります。



編集後記

新年度のスタートとともに、「未来への翼」は第5号の発行を迎えました。いつもお読みいただき、本当にありがとうございます！今年度から、本学の魅力をより広くお届けする専門の部署として、新たに「広報室」がスタートしました。室ができて3ヶ月、これまで大切に育てられてきたこの広報誌のバトンをしっかり引き継ぎ、新体制で学内の様々な取り組みを発信していきます。今年度も、取材や撮影を通して学内の素敵な活動をたくさんお伝えしながら、楽しい誌面を作っていければと思います。どうぞよろしくお願いいたします！（大学・広報室）



HP・SNSでも情報発信中！



 **八戸工業大学**
Hachinohe Institute of Technology

工学部 工学科
感性デザイン学部 感性デザイン学科
大学院 工学研究科